

- 問1 奈良時代の都である平城京の様子や当時の国際関係について述べた文として、正しいものはどれですか。当時の都の構造が、中国の都にならって碁盤の目状に区画され、中央を南北に貫く大きな通りや、北端に宮殿が配置されていたことを踏まえて選びなさい。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
1. モンゴル帝国の支配に対抗するために要塞化された都市であり、日本独自の文化を守るため海外からの物品の流入を厳しく制限していた。

2. 宋の都をモデルとして商業を中心に発展し、主に朝鮮半島の渤海との貿易によって得られた富で巨大な寺院が建立された。

3. 明の政治体制を模範として中央集権化を進めるための拠点であり、国内の流通を円滑にするため碁盤の目状の区画が採用された。

4. 唐の都である長安をモデルとして造営され、シルクロードを通じてイスラム帝国などの文化や物品が流入する国際的な都市であった。
- 問2 743年に出来た聖武天皇の私財法が、その後の日本の社会に与えた影響や背景について、正しい説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 公地公民の原則を強化し、すべての土地を国が管理する仕組みを徹底させた。

2. 農民に等しく土地を配分する班田収授の法が、この法令によってより確実に実施されるようになった。

3. 開墾した土地は三世代に限り私有が認められたが、それ以降は国に返還することとされた。

4. 土地の永久私有が認められたことで、貴族や寺社が大規模な私有地である「荘園」を形成するきっかけとなった。
- 問3 奈良時代の文化について述べた文章において、聖武天皇の遺品や、シルクロードを経由して運ばれたペルシア・インドなどの国際色豊かな宝物を収蔵している建物を指す名称を選びなさい。この建物は、断面が三角形の木材を組み上げて壁を作る校倉造（あぜくらづくり）という技法が用いられていることでも知られています。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 平等院鳳凰堂

2. 東大寺正倉院

3. 鹿苑寺金閣

4. 法隆寺金堂
- 問4 8世紀の日本では、天然痘などの感染症の流行や飢饉が相次ぎ、社会不安が広がっていました。このような状況の中で、聖武天皇が「仏教の力によって国家を守り、社会の不安を鎮めよう」と考えて全国に国分寺・国分尼寺を建立し、大仏を造立した際、基盤となった思想を何といいますか。 (2021年 沖縄県公立入試 類似)
1. 鎮護国家の思想

2. 神仏習合の思想

3. 本地垂迹説

4. 浄土信仰
- 問5 奈良時代、相次ぐ災害や疫病による社会の混乱を鎮め、仏教の力によって国の安泰を図ろうとした政治思想を何といいますか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
1. 摂関政治

2. 鎮護国家の思想

3. 武断政治

4. 文治政治
- 問6 正倉院に伝わる「鳥毛立女屏風」には樹木の下で唐風の衣装をまとった女性が描かれています。このような国際色豊かな文化が栄えた時代において、その時代（天平文化）の特徴を正しく説明している仏教彫刻はどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
1. 平安時代に藤原氏の権力を背景として、平等院鳳凰堂に安置された定朝作の阿弥陀如来像

2. 飛鳥地方を中心に建立された寺院に見られる、北魏様式などの特徴を持つ日本最古の仏像

3. 国家を守るという目的のために、力強く写実的な技法で造られた天平様式の仏像

4. 京都の広隆寺に安置されている、飛鳥時代の渡来人による技術の影響が見られる弥勒菩薩像
- 問7 743年に「聖武天皇の私財法」が施行されたことにより、その後の日本の社会に現れた大きな変化として正しいものはどれか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 土地の私有化が進んだ結果、米で納める「租」の制度が廃止され、全ての税が貨幣で納められるようになった。

2. 天皇による直接支配が全国の隅々まで行き渡り、武士という新しい階級が登場する余地がなくなった。

3. 経済力を持つ貴族や寺院が大規模な開墾を行い、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が広がる原因となった。

4. 班田収授の法がより厳格に守られるようになり、農民の間の貧富の差が完全に解消された。
- 問8 古代の遺跡から発掘された、都へ塩を税として運んだ際の荷札である「木簡」には、その土地の産物を納めた記録が記されています。この木簡に示された税制度の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)
1. 収穫した稲の3%程度を納めるもので、主に地方の財源となった。

2. 地方ごとの特産物を都に納めるもので、運搬の負担も伴った。

3. 国司の命令により、地方で年間60日を限度に土木工事などを行うものであった。

4. 都での労役（労働）の代わりに、布を納めるものであった。
- 問9 飛鳥・奈良時代に行われた班田収授法の内容として、正しい説明はどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
1. 6歳以上の男女を対象に口分田が割り当てられ、本人が死亡した際に国へ返すこととされた。

2. 新たに開墾した土地を永久に私有することを認めることで、農業生産の拡大を図った。

3. 武士に対して先祖伝来の領地の支配を認め、その代わりに軍役を課す仕組みを整えた。

4. 土地の所有権を認め、地価に応じた金額を現金で納めさせることで国家の財源を確保した。
- 問10 飛鳥時代から平安時代にかけて、対馬や北九州の沿岸部に配置され、唐や新羅の侵攻を警戒した兵士を何と呼びますか。 (2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. 御家人

2. 防人

3. 屯田兵

4. 遣隋使
- 問11 奈良時代の律令国家において、都に近い地域と遠い地域で「労役（労働による負担）」の日数に差が設けられていた理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 都に近い地域は移動の負担が少ないため、その分、実際の労働に従事させる日数を増やすことで労働力を確保しようとしたから。

2. 都に近い地域は土地が肥沃で食料が豊富だったため、都での労働に従事する人々の食料を自給させやすかったから。

3. 都から遠い地域ほど人口が多く、一人あたりの労働日数を減らしても十分な労働力を確保することができたから。

4. 都から遠い地域では、外敵の侵入に備える兵役の負担が非常に重かったため、都での労役はすべて免除されていたから。
- 問12 延べ二百万人以上の人々が協力したとされる奈良時代の東大寺の大仏造営において、当初は活動を制限されていた僧侶の行基が、最終的に朝廷から協力を依頼された背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 比叡山に延暦寺を建てて、平安京の北東にある鬼門を守護し、国家の安寧を祈念する役割を担っていたから。

2. 真言宗を説き、加持祈祷によって天皇の病気を治したことで、朝廷内での信頼が急速に高まったから。

3. 唐から命がけて渡来し、正しい戒律を日本の僧侶に伝えることで、仏教界の規律を正した実績があったから。

4. 土木技術を駆使した社会基盤の整備を通じて、農民などの民衆から絶大な信頼を得ており、その動員力が期待されたから。